

設置の趣旨・必要性

- ◆ 岐阜大学連合獣医学研究科の実績を踏まえ、新たなステップである共同大学院として再編、地域が抱える専門性の高い社会的要求に応える獣医学博士を育成、引き続き、岐阜大学連合獣医学研究科の4大学と授業連携や学位審査の協力体制を構築し関係性を継続
- ◆ 共同獣医学専攻の設置により、首都圏及び東北地域を中心とした東日本エリアにおける食品の生産と消費、安全安心、公衆衛生の面で地域社会に貢献し、創薬分野など新たな人材需要にも対応
- ◆ 岩手大学と東京農工大学で掲げた共同獣医学科の教育理念「人類と動物の健康と福祉に貢献する」を更に深化し、東日本における高度教育研究拠点として成長していくためには、学部教育と大学院教育を接続した段階的・体系的な教育を目指すとともに、新たな共同カリキュラムを組み込んだ獣医学分野における研究者及び高度専門職業人養成のための大学院教育組織の構築が必要

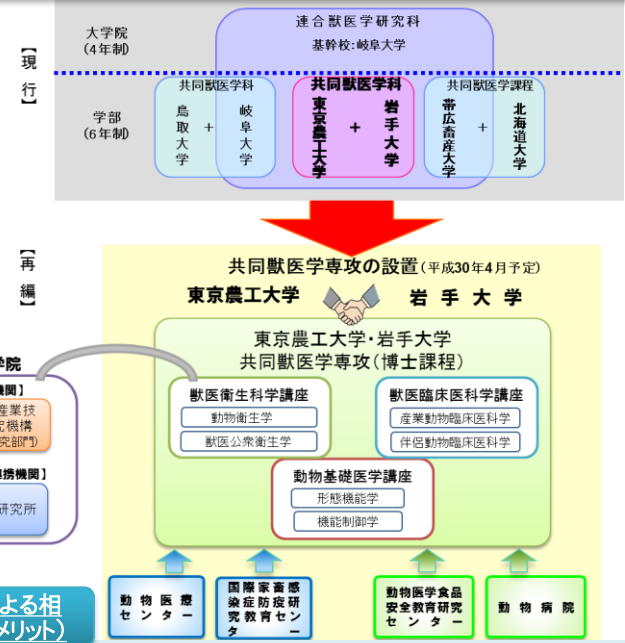
共同獣医学専攻(博士課程)の設置(入学定員:東京農工大学10名、岩手大学5名)

【養成する人材像】

- ① 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関する高度な専門知識と研究能力を備えた人材
- ② 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識と研究能力を備えた人材
- ③ 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識と研究能力を備えた人材

【特徴】

両大学の4つのセンター及び連携機関と協力し、教育研究において更なる相乗効果の創出を目指す



【特色】

- #### 教育課程の特色
- ◆ 教育理念に基づき、指導体制を3つの大講座(動物基礎医学講座、獣医衛生科学講座及び獣医臨床医学講座)に集約し、高度な獣医学を実践する組織体制を踏まえたカリキュラムを提供
 - ◆ 主指導教員及び副指導教員2名の3名による指導体制により、きめ細やかな研究指導を実施
- #### カリキュラムの特色
- ① 連合大学院で培ってきたノウハウを活かし、両大学の強みを組み込んだ5つの科目群を設け、体系的な科目履修が可能
 - ② 両大学が有する4つのセンターを軸とした両大学の強みを特徴づける獣医学学際科目を開講
 - ③ 両大学の立地環境を活かして国や地方の研究機関との連携により先端実践科目を開講

2大学による相乗効果(メリット)

- ① 獣医学の基礎分野における諸課題を最先端の科学的手法を用いて研究し、成果の中からイノベーション創生が実践できる
- ② 動物衛生及び公衆衛生に関する諸問題を最先端の科学的手法を用いて現場レベルで解決できる
- ③ 産業動物及び伴侶動物の両領域における獣医療について高度動物臨床医学を先導する